

2 学年だより

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 喜代治

ICT教育の成果

新型コロナウイルスの影響で学校の教育活動が大きく制限を受けてから、3年目となります。小田原市もリモート授業を導入して、授業を保障してきました。リモート授業に欠かせないクロムブックはさまざまな機能を備えています。情報を共有したり、発信したりすることが自由自在にできます。この黄色学年の生徒が城山中学校に入学してきて、驚かされたことがあります。それは、クロムブックを自由に使いこなせる力を身に付けているということです。上級生は、クロムブックの取り扱いに戸惑っていましたが、この学年の生徒は、生活の一部としてクロムブックを使いこなしていました。小学校の頃からクロムブックが与えられICT教育を受けてきたので、教員よりも巧みにクロムブックを使いこなす生徒がたくさんいます。緊急事態宣言が出されて、学年集会ができなくなった時期もクロムブックを利用して学年集会をリモートで行いました。すべて、設定から進行まで生徒が進めました。その時に、この学年の生徒は今までの中学生とはまるで異なり、ICTを使いこなす生徒であることを実感しました。

学年の方針で、委員会活動などにクロムブックを積極的に活用していくことにしました。生徒は、私たちの発想では考えられないことを次々に実践していきました。情報委員会では、自分たちのミートを作って、連絡ボードに書かれた連絡事項を共有して、帰りの会で教室のモニターに映し出して明日の持ち物をクラスに伝達しています。また授業でも黒板に書かれた内容をクロムブックに記録して、休んでいる生徒に伝えている生徒もいます。

昨日は、職業講話で働くことの意義を看護師、保育士、政治家、美容師、料理人などの人を招いて学んだ働くことの意義等の内容を各自が整理して感想や意見をまとめたものをスクリーンに映して発表しました。数年前まで、画用紙でフリップを作って発表していたのに、すべての生徒がネットから資料を集めてクロムブックを使って発表しているのがすばらしいと思います。



5月13日に実施される遠足（鎌倉方面）では、全員にクロムブックを持たせて見学し、そこで得た知識や史跡を記録し、事後の発表会にいかしていくつもりです。学校長もICT教育を積極的に進めていくことを希望しており、授業や日常生活の場で積極的に活用していきたいと思います。

* 職業講話の話をクロムブックにまとめ、発表の練習中
(4月19日 総合的な時間)